



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 アツギ株式会社  
コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 洋志  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括 (氏名) 古川 雅啓

TEL 046-235-8107

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,280	△49.3	△708	—	△517	—	△857	—
2020年3月期第1四半期	4,494	△8.9	△362	—	△254	—	△242	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △313百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △695百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△53.50	—
2020年3月期第1四半期	△15.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	41,334	35,201	84.9
2020年3月期	42,395	35,756	84.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 35,079百万円 2020年3月期 35,630百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当につきましては、現段階では引き続き未定とし、業績予想が可能となった段階で、配当予想を速やかに公表いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算出することが困難であることから引き続き未定としております。今後、業績予想が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	17,319,568 株	2020年3月期	17,319,568 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,288,991 株	2020年3月期	1,288,842 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	16,030,651 株	2020年3月期1Q	16,033,227 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界規模での甚大な影響を受け、雇用・経済・社会生活において制約された活動を余儀なくされ、極めて厳しい状況が続いております。緊急事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルスの第2波の可能性もあり、先行きは不透明な状況で推移しております。

繊維業界においては、緊急事態宣言に伴う商業施設等の臨時休業や営業時間短縮、外出自粛要請等により実店舗における衣料品販売が総じて苦戦するなど、個人消費は急激に冷え込み厳しい環境にあります。

このような状況において当社グループは、現在取り組んでいる中期経営計画『ATSUGI VISION 2020』で掲げる「企画・開発と営業戦略の融合」、「繊維事業におけるバランスの改革」、「製造原価の低減」、「女性の美と快適に「健康」をプラス」、「生産性の向上」の5つの課題への取り組みに加え、これらを強化するための施策として、2019年度より「事業構造改革」、「業務構造改革」、「コスト構造改革」の3つの構造改革を推進することにより、次の時代を見据えた事業構造への転換を図り、強固な事業基盤の構築を目指しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により春先から百貨店をはじめとした取引先店舗の営業自粛や営業時間短縮、在宅勤務の推奨の動きなどの新たな生活様式への変化によるストック需要の減少等が、当社の主力商品の生産、販売に大きな影響を与えました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,280百万円（前年同四半期比49.3%減）、営業損失は708百万円（前年同四半期は362百万円の損失）、経常損失は517百万円（前年同四半期は254百万円の損失）、また、投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純損失は857百万円（前年同四半期は242百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

## 〔繊維事業〕

レグウェア分野は新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の営業自粛、在宅勤務や外出自粛の広がりや背景とした個人消費の冷え込み等の影響を受け、プレーンストックやショートストックを中心とした春夏物商品の伸び悩みなど全般的に厳しく、同分野の売上高は1,469百万円（前年同四半期比57.5%減）となりました。

インナーウェア分野も同様、新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の営業自粛、外出自粛等の影響を受け、全般的に厳しく、同分野の売上高は510百万円（前年同四半期比28.1%減）となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は1,980百万円（前年同四半期比52.5%減）、営業損失は790百万円（前年同四半期は454百万円の損失）となりました。

## 〔不動産事業〕

保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は143百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は88百万円（前年同四半期比12.0%減）となりました。

## 〔その他〕

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は順調に推移しましたが、介護用品の販売が外出自粛の影響などにより厳しい状況で推移しました。また、2020年4月より認知症高齢者向け介護施設であるグループホームを開設しております。これらの結果、当事業の売上高は157百万円（前年同四半期比13.0%減）、営業利益は16百万円（前年同四半期比14.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は41,334百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,061百万円減少いたしました。これは主に、たな卸資産の増加1,135百万円、投資有価証券の増加376百万円、売上債権の減少1,546百万円および現金及び預金の減少1,024百万円等によるものであります。

負債の部は6,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ506百万円減少いたしました。これは主に、仕入債務の減少324百万円等によるものであります。

純資産の部は35,201百万円となり、前連結会計年度末に比べ554百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失857百万円の計上や、前期決算に係る配当金240百万円による減少およびその他の包括利益累計額の増加547百万円等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は84.9%（前連結会計年度末は84.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現段階において、新型コロナウイルス感染症が業績に与える影響が大きく、また第2波の可能性もあることなどから業績予想を合理的に算出することが困難と判断しております。そのため業績予想は引き続き未定といたしました。業績予想の算出が可能となった段階で改めて公表させていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,120	7,095
受取手形及び売掛金	3,198	1,651
商品及び製品	5,001	5,780
仕掛品	1,421	1,755
原材料及び貯蔵品	491	514
その他	495	587
貸倒引当金	△113	△133
流動資産合計	18,615	17,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,726	1,890
機械装置及び運搬具（純額）	1,882	1,807
土地	13,098	13,098
建設仮勘定	209	24
その他（純額）	43	43
有形固定資産合計	16,960	16,864
無形固定資産	167	165
投資その他の資産		
投資有価証券	6,448	6,825
繰延税金資産	12	20
その他	193	210
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	6,652	7,053
固定資産合計	23,780	24,083
資産合計	42,395	41,334

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,981	1,656
未払法人税等	133	49
賞与引当金	102	33
その他	840	762
流動負債合計	3,057	2,502
固定負債		
繰延税金負債	594	710
再評価に係る繰延税金負債	1,479	1,479
退職給付に係る負債	1,221	1,153
その他	285	285
固定負債合計	3,581	3,629
負債合計	6,639	6,132
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	31,706	20,000
資本剰余金	9,345	16,148
利益剰余金	△5,509	△1,704
自己株式	△1,462	△1,463
株主資本合計	34,079	32,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	751	1,330
繰延ヘッジ損益	142	138
土地再評価差額金	377	377
為替換算調整勘定	280	252
その他の包括利益累計額合計	1,551	2,098
非支配株主持分	125	122
純資産合計	35,756	35,201
負債純資産合計	42,395	41,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,494	2,280
売上原価	3,247	1,614
売上総利益	1,246	665
販売費及び一般管理費	1,608	1,374
営業損失(△)	△362	△708
営業外収益		
受取利息及び配当金	115	116
持分法による投資利益	—	4
為替差益	—	1
補助金収入	—	60
その他	21	12
営業外収益合計	137	195
営業外費用		
持分法による投資損失	4	—
租税公課	1	1
為替差損	19	—
その他	4	3
営業外費用合計	29	4
経常損失(△)	△254	△517
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	5	1
投資有価証券評価損	—	320
特別損失合計	5	322
税金等調整前四半期純損失(△)	△260	△839
法人税、住民税及び事業税	48	22
法人税等調整額	△67	△0
法人税等合計	△18	21
四半期純損失(△)	△241	△860
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△242	△857



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△241	△860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96	578
繰延ヘッジ損益	△80	△3
為替換算調整勘定	△272	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△0
その他の包括利益合計	△453	546
四半期包括利益	△695	△313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△688	△310
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△3

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月26日開催の第94回定時株主総会により、資本金を11,706百万円減少し、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を4,662百万円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,170	142	4,313	180	4,494	—	4,494
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	1	—	1	△1	—
計	4,172	142	4,314	180	4,495	△1	4,494
セグメント利益又は損失(△)	△454	100	△354	19	△334	△27	△362

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,980	143	2,123	157	2,280	—	2,280
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	1	0	1	△1	—
計	1,981	143	2,125	157	2,282	△1	2,280
セグメント利益又は損失(△)	△790	88	△701	16	△684	△23	△708

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。